



三条北ロータリークラブ週報

2013-2014年度

国際ロータリー会長：ロン D. バートン「ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を」

第2560地区ガバナー：山崎堅輔 「進めよう！職業奉仕の洗練化を！」

「備えよう！大震災の心構えを！」

三条北ロータリークラブテーマ「楽しくなければ ロータリーではない」

会長：丸山 勝

幹事：岡田 健

SAA：石黒 隆夫

例会日：火曜日12:30～13:30

例会場：三条ロイヤルホテル TEL34-8111

事務局：三条市本町3-5-25三条ロイヤルホテル内

TEL:0256-35-7160 FAX:0256-35-7488



HP : <http://www.sanjo-nrc.org>

AD : north@sanjo-nrc.org

本日の行事：「ロータリー理解月間」

卓話「新年を迎えてロータリー四方山話」

- ◆本日の出席：68名中38名
- ◆先々週の出席率：69名中49名 71.01%
(前年同期 80.00%)
- ◆12月の出席状況：会員数69名
例会数4回・平均出席率 77.54%
前年同月 79.5%
- ◆本日のビジター：
三条東RC 菅家敏彦さん

◆先週のメイクアップ：

- 1月11日野球部練習 小林繁男
岡田大介、西村 護
森 宏、石川一昭
- 14日親睦活動委員会 本田芳久
羽賀一真、福岡信行
森 宏、大桃麻弓

2014-15年度RIテーマ



会長挨拶：丸山 勝会長



皆様こんにちは。寒さも一段と厳しくなってきました。体調には十分気を付けてください。

先週、例会後に山上会員が三之町病院に入院されたので、岡田幹事と二人でお見舞いに行ってきました。山上さんは声は少し小さいですが、すこぶる元気で早く良くなって例会に出て、皆様とお会いすることを楽しみにしているそうです。

今月はロータリー理解月間ということで、中條パストガバナーより卓話があります。ロータリーを良く理解して楽しくロータリーライフを送りましょう。

また、私の年度で3人の退会が出ました。新入会員で田口さんが入会予定です。会員の皆様、新会員候補の情報を聞かせてください。私と増強委員長の柄沢さんと入会のお願ひに行きますので、是非とも新会員候補の推薦をお願いします。

幹事報告：岡田 健幹事

- ・地区米山奨学委員長より
第2回米山奨学委員長セミナー
日時 2014年2月8日(土) 11:45～
会場 ANAクラウンプラザホテル新潟
- ・山崎ガバナーより
年次国際大会シドニー参加、再度のお願い
1月31日(金)〆切りです。是非ご参加をお願いします。
- ・三条ローターアクトクラブより
長久の家餅つき大会のご案内
日時 平成26年1月30日(木) 19:30～
会場 障害者福祉サービス事業所 長久の家

◆ロータリー財団BOX：14日現在累計407,000円

石丸 進君 中條パストガバナー本日はご苦労さまです。
西村 護君 ロータリー財団に協力して
湊岡 茂君 米山財団副委員長に協力。所用にて早退します。
大橋 政雄君 BOXに協力です
石川 一昭君 〃
米山 忠俊君 今のところ例年になく雪の少ない一月を過ごしています。



◆米山奨学BOX：14日現在累計344,000円

早川 瀧雄君 大野米山奨学委員長に協力です。
武田 恒夫君 大野さんに勧められて。
本間建雄美君 米山奨学を宜しくお願い致します。



◆ニコニコBOX：14日現在累計532,000円

菅家敏彦君（三条東RC）改めて新年おめでとうございます。本年も宜しくお願い申し上げます。さて本日は「ロータリーをより知るために」お伺い致しました。何卒重ねて宜しくお願い申し上げます。

中條 耕二君 久しぶりに卓話の機会を与えていただき、ボケ防止になります。感謝しています。
小林 繁男君 中條さん、お願いします。
岡田 大介君 1300回記念 協力
星野 義男君 中條パストガバナーの卓話に感謝して!!
今井 克義君 三条北RC発足に多大な尽力をつくされた初代会長の中條さんの卓話拝聴いたします。
武田 恒夫君 あけましておめでとうございます。本年も宜しく願いいたします。
斎藤 正君 中條さんの卓話で勉強させて頂きます。東クラブの菅家さんようこそお見え頂きました。ありがとうございます。
大桃 麻弓君 三男、海斗の「全国高校サッカー選手権」全国大会出場の際には沢山の応援、寄付ありがとうございました。残念ながら1回戦で敗退となりましたが、又頑張っていくと思いますので宜しくお願いいたします。
石黒 隆夫君 例会第1300回を記念して
岡田 健君 寒の内らしい気候です。皆様カゼなどひかない様にご自愛願います。
樋口 金占君 BOXに協力
高橋 彰雄君 〃
石川 一昭君 〃
丸山 勝君 〃
外山 裕一君 〃
渡辺 徹君 協力します
石川 友意君 ロータリー理解月間、中條パストガバナーの卓話に感謝して!!



***12月のコメント賞は**

武田恒夫会員です。





「新年を迎えてロータリーよもやま話」

一月はロータリー理解月間 元旦に健康元気祈るのみ

今年の元旦の私自身の心境

です。

皆さん明けましておめでとうございます。本日は情報委員長の小林繁男さんからご指名を頂き、卓話の機会を頂き光栄にかつ感謝しながら、お話をさせていただきます。

因みに昨年1月15日（火）の例会は石川勝行さんのご指名でお話しました、どんな話か、もうお忘れと思いますが、ロータリーというのは何なんだろうということから始めたように記憶しております。ロータリアンの平均年齢60歳、60歳は青年である。と話させていただきました。

ロータリーの理解月間という意味合いから、ロータリーとは一言で言えば人道的奉仕をする仲間づくり、これがロータリー、もっと簡単にいえば“仲間づくり”の会であると思っております。北クラブの入会の若い会員は情報委員会でお聞きになり、仲間になって下さり親睦委員会さんでのご活躍に常日頃、感謝しております。

さて、わが北クラブの皆さんは、このクラブに入って良かったと思っておられますか。私は良かったと思っております。人生は“塞翁が馬”喜怒哀楽はあざなえる縄の如し、苦しいことも嬉しいことも楽しい事もあります、苦しい悲しいとき、私はロータリーの例会でほっと一息つきました。大袈裟に言えば入会して50年間、ロータリー仲間は、例会は“砂漠の中のオアシス”のような癒しの場、和む場所でした。

ロータリーに入会した頃、明治生まれの人、軍隊経験者に囲まれて教育を受けた。生きた教育を。

ロータリーに入会当時は、三条クラブが発足して7年目の昭和39年新潟地震があり、東京オリンピックの年です。スポンサーの野水文治さんに昼カレーライスを食べながら市長さんやいろんな人のお話を聞く会、ロータリーの話はなく

例会に出てみました。当時は会っても見られないそうそうたる方ばかり、最初の挨拶で足がふるい上がってしまい、ただ何もわかりません、よろしくお願ひしますがやっとでした。

金子左武郎さん、桑原謙一さん桑原カン医者ろん、東大医学部出身の小出策郎先生、内田鉄英衛氏コロナの創立者、三条機会の結城太一郎社長、田中衡機の田中佐氏、トップのパイプをくわえた丸山豊造さん、歯医者の方の田巻先生、北陸の加藤峰吉さん、公認会計士の岩井和夫さん、野島書店の馬場由太郎さん、挙げればきりのない方々、私は高儀の高橋儀平会長、幹事渡辺惣吉さんの自宅への訪問を頂き入会させていただきました。

ロータリーの先生は初代幹事、当時はロータリーの字引と言われた鈴木宗資先輩でした。石村会員の若松で1時間みっちりロータリーのいろはを教えて頂いて早や50年の歳月が流れました。正に光陰矢の如し、です。

それ以来、諸先輩の人生哲学を学び今日に至っております。よき先輩、ロータリーを通じて出会い、お教えいただき、ロータリーとかけてなんと説く、ぬるま湯の風呂と説く、その心は上がると風邪を引く、と先輩に励まされ、おだてにのって、しかし感謝しつつ今日を迎えた、幸せは自分の心が決める、相田みつおの言葉どうり、有り難い23年の三条のクラブ、殆どの方が鬼籍に入られ、野水さん、渋谷健一さんのお二人になってしまった。思い出すと懐かしいの一言です。

楽しい夜例会 人は昼の顔と夜の顔がある。夜になると生き生きとしてくる、若いときはなおさらに。

思い出すまま、綴ってみたい。ロータリーでの楽しみは何と言っても、折に触れ開催された夜の親睦例会であった。メンバー36名、芸者の数は88名、昭和39年・40年台はその上、第二組合100名位いたようだ。メンバー1人に芸者1人つき、宴会は盛り上がり盛りに盛り上がった。男

盛りの私は夜がくるのが待ち遠しかった。当時の若松は1次会が終わると、三々五々同じ若松の小部屋へ入り、今度は三味線で唄、それも都々逸、小唄、民謡、軍歌、流行歌であった。指名されても歌えず、とうとう師匠についてお座敷小唄を勉強することになってしまった。鈴木宗資さんの小唄は絶品であった。芸者泣かせとはこの事か。

先輩に教わった事、兵隊勘定、威張り賃。

聞き上手は話上手。

人の話を聞くのもエネルギーがいる、勘定は俺が払う。(話をした人)

ロータリーには初代会長 金子左武郎会頭を筆頭に序列があった。それは自然と決まって会長就任の順番、ロータリー入会の順、勿論私は末席、率先して芸者に混じって先輩にお酌してまわった。中にはお流れ頂戴といって杯を頂くのが習わしであった。先輩は若輩の私に話しかけて下さり、二次会に誘って頂、励まして頂いた。親睦委員は新会員の楽しい務めでもあった。三次会は若い者同志で、すみよし、トキワ、Hへと潜り込んだ。東京で仕込んだジルバ、ブルース、タンゴ、マンボ、ダンスなら何でも来い、着物の芸者から今度はドレスの若い女、終わると女を連れて四次会、当然午前様であった。よく体が続いたもんだ。今はその付けが間違いなくやってきた。神様はじっとよく見てるものと反省やら懺悔している。企業の寿命30年、人間の盛りも30年、今の私は残念ながら、当時から見ると、見る影もない。今頃気付いても遅いが、今は散歩で生き甲斐を見いだしている。老いを楽しんでいる。自業自得という言葉を身にしみて感じています。

1983~84 (昭和58年~59年) 三条クラブ会長の頃、今のさんしん中央支店が例会場であった。

思い出の一つに三条クラブの会長時代、幹事は梨本清一氏、SAA会場監督は今の会頭、斎藤弘文氏であった。私の指名で斎藤君はよ一く務めてくれた。例会場は中央支店から私の時代に

今の本店に移った。3人組は本店の広い例会場の位置を決め、初代金子会長に褒められた事を思い出す。その頃、三条クラブからガバナーを出す打診が金子会長を通じてお話があった、当然鈴木宗資氏であったが、鈴木さんに会頭の話があり鈴木さんはガバナーにはならず、藤田説量さんになった。

会長の私の日常は多忙を極めていました。仕事とロータリー活動、若き時代、寝る間を惜しんで日程調整し頑張りました。当時藤田先生は三条市の社会教育委員長、私は委員の一人としてご指導頂いていた。鈴木会頭さんには弟子の一人として可愛がっていただき、後に副会頭のご指名を頂きました。不思議と三条クラブから金子会頭、鈴木会頭、渡辺会頭、今の斎藤会頭と就任されている。三条ロータリークラブはロータリーの本家であり中心として発展してほしいと、我が故郷三条クラブに願いを込めております。

メイクアップ王、三条クラブ初代SAA近藤与助氏の思い出。常に人をたて、笑いを持った人

メイクアップ (Make-Up) ホームクラブ欠席の場合、前後2週間以内に別のRCの例会か、他の所定の会合に出席すれば、自分自身を守り、出席扱いとなる。定款に定められている。私の入会当時はホームクラブ全部出席すると100%出席となる。1週間にホームクラブと他のクラブへ毎週出ると200%出席となりRIからも出席を重要視され、当時は出席競争時代であった。初代SAAの近藤与助氏は何と300%を超えていた。ガバナー表彰の常連であった。私も負けず劣らずメイクアップした、当然300%を超えて1位2位を争った。懐かしい思い出である。近郷ではロータリーは燕、加茂しかなかった。長岡、新潟、新発田、昔の中条RC、メイクは果てしなし、お座敷の会場、今は村松RCしかない。全部椅子になった。県下を泊まり込みで営業していた若き頃、夜は当然お得意様と芸者をあげて接待に努めた。中にはロータリアンのお客さんあり、バッチが信用をつけてく

れた。カクヨさんは見積み書に四つのテストを載せて実を挙げておられた。お酒は飲まない、商売熱心な方であった。姓名判断と卓話をつとめ、陰の会長と言われた人でした。

私はその影響で国内は勿論、世界中のロータリーへ参加することになった。メイクは楽しい、お陰様で多くの友人ができた。

ロータリーの拡大・増強委員長に指名された。見附、三条北、三条東、設立を振り返ると楽しかった。



私は生まれながらの根性よし、頼まれるといやと言えない

性分。当時は見附が空白状態、北村知事がライオンズクラブ、長岡からアプローチしてもロータリーはできなかった。私に白羽の矢が立った。当然見附通いが始まった。見附の料亭で夜、一杯飲みながら1年がかりであった。昼一応訪問しての拡大は自分の営業所を出す位のエネルギーが必要であった。結果、見附、三条北、三条東、3つのRCが誕生した。東クラブは池田



初代会長が自分の職場、三條機械のホールを使っての誕生、嬉しくなって初例会に卓話をし、最後は

ハーモニカを吹いて祝った。皆さんの協力に感謝あるのみである。

これからのロータリークラブについて 女性会員の入るクラブづくり、Eクラブの発展

昔懐かしいお話は山ほどあり、とても30分では終わらない。この辺でこれからのロータリークラブについてお話してみたい。

高齢化、少子化時代を迎え、ロータリーは全体

的には減少になる。しかし世界のロータリーは130万人に拡大すると予想されている。

先ず女性会員の増強である。そしてEクラブの世界的な伸びが予想される。日本ではこの事は考えられない事であった。4年前シカゴの規定審議会で日本の34地区代表の委員は皆反対であった、私も含めて。しかし圧倒的多数で決定した。北クラブも更に女性会員の入会が望まれる。

Eクラブの現状と未来 ポールハリスはロータリーは変革に対応するクラブと言った。山崎ガバナー事務所にお尋ねした所、12月R I第2560地区の会員数は2038名、うち女性会員は141名でした。今から8年前の中條年度は88名の女性会員でしたので53名の増強です。2クラブに近いプラスです。

Eクラブは0から3年間に日本国内で5クラブが誕生し、会員数は186名です。世界全体では、135クラブ、推定会員数は6000人になるのではないかとの回答でした。1万人も夢ではない驚異的な増強になります。正に革命的な現象であり、ネット例会出席でき、居ながらメイクアップ可能な時代を迎えた事です。

日本の規定審議会代表委員の反対が何だったのか、顔を見ないロータリー活動が、ロータリーか、疑問を投げかけた日本の考え方はもう古い、世界は新しいロータリークラブを目指して居ることに注目しなければならない時がやってきたようです。

少数精鋭主義の日本ロータリーになるかしかし増強は常に続けなければならない。宿命である。

どうしたら会員の増加が可能か。地区の中での存在感が出てきたと思っております。それにはロータリークラブは“人と共に生きる、思いやりの心を持つ、自分を磨く、相手の立場で考え行動する”積極的に参加する心を養う仲間でありたい。

13万人から4万人減った日本のロータリーも漸く歯止めが少しかかって来たようだ。ロータ

リーはなくなる。21世紀に向かって素晴らしい出会いを作りよき師を得る場となり、よき友は人生の宝となり、学びの場、楽しい人生の場となり、私のように入って良かったと実感できるような微力ながら奉仕したい。北クラブは人材の宝庫、名実ともに県下ベスト5に入った。三条北クラブの発展を心から喜び感謝しております。

今年の夢は、目標は何か。他人から見たら小さな夢。しかし生きなければ見られない。
 1 健康でありたい。2 番目は孫の居ない方には申し訳ないが、孫に威張り賃を出して東大を案内してくれる約束を取り付けた。加賀百万石の屋敷跡、赤門や安田講堂など施設見学、学生食堂で230円也のカレーライスを2人で食べるまで、昨年とはとても多忙で無理、修士課程3年、博士課程6年とのこと、とても爺を相手にはしてられない。ポールハリスフェロー何回分か。漸く効いてOKとなった。酒の強い24歳の孫と付き合うのが大きな夢となった。8人の孫の

成長が楽しみに生き甲斐を感じる。

3 番目は母校三条高校の甲子園出場の夢、シーズンが待ち遠しい。

4 番目は日々の散歩とゴルフ。他人が考えると小さな目標。今は目の先生、泌尿器科の医師、内分泌（糖尿病）の先生、歯の定期検診治療、難聴補聴器の点検、一番大事な心臓の3ヶ月点検、病との日々の戦い。あと何年ロータリーに在籍できるか。人生の第四コーナーからゴールがどうも見え始めた様に思う。健康でありたい。唯一の願いになりました。

家康公の人生は重い荷物を背負うて遠い道を行くが如し。漸く肩の荷物をおろし、幸せに生きる。肩書きもおろして、相田みつおの「幸せは自分が感じ取り、そしてすべてに感謝の心を持って暮らすこと」家族に地域に仲間に全ての友に。それには心のあり方を変える、時代は大きく変わる。良き仲間の三条北RC会員諸兄に心から感謝して。



10年前の記念写真の会員の中で10数名が現在は在籍していません。理由は様々ですが、増強をやっていかなければ減少するのみです。

平成16年夏

2003.8.26 原信一ガバナー公式訪問 於 饒心亭おゝ乃 ガーデンテラス



横山ガバナー年度地区大会に於いて北RCの自慢話を披露。堂々たるお話に出席者を圧倒した米山会員

